

保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果(公表)

公表:令和 6年8月20日

事業所名 てらびあぼけつと西川口教室

保護者等数(児童数) 25名(27名) 回収数 15枚 割合 60%

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	13	1	0	1	<ul style="list-style-type: none"> もう少し広くても良いかなと思う時があります。軽くストレッチができるスペースや、親が見ても大丈夫なようなマジックミラーがあると素の一面が見られるので。 人数に対して十分だと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、安全面に配慮しながらスペースを確保していきます。ご希望があればいつでもセラピーの見学もできますのでお声がけください。
	2	職員の配置数や専門性は適切であるか	12	1	0	2	<ul style="list-style-type: none"> 少し意味が変わりますが、GWや長期休暇もやってくださっていて、しっかり休めているか心配です。長くやっていただきたい気持ちがある分、人を増やして先生みんなが休めるようにしてほしいです。 	<ul style="list-style-type: none"> お心遣いありがとうございます。今後は職員の体調管理に努めていきます。
	3	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	14	0	0	1	<ul style="list-style-type: none"> 教材など子供にもわかりやすく整理してあると思う。 	<ul style="list-style-type: none"> 今後もお子様課題に集中して取り組めるよう、環境設定を行っていきます。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境となっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	14	0	0	1	<ul style="list-style-type: none"> いつもきれいで清潔なイメージ。 	<ul style="list-style-type: none"> 各クールごとの清掃、消毒も継続して行っています。
適切な 支援の 提供	5	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	15	0	0	0	<ul style="list-style-type: none"> しっかり作成されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 今後も丁寧にお話をお聞きしながら、職員間での情報共有を綿密に行っていきます。
	6	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	15	0	0	0	<ul style="list-style-type: none"> しっかり作成されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 事業内での支援にこだわらず、家庭支援や地域支援などを積極的にを行い、お子様やご家族を支援出来るよう努めていきます。
	7	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	15	0	0	0	<ul style="list-style-type: none"> その都度の支援を含めて対応してくれている。 	<ul style="list-style-type: none"> 今後も支援計画に沿った内容で支援を行い、その都度、お子様やご家族のニーズを反映していきます。
	8	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	10	1	0	4	<ul style="list-style-type: none"> 工夫されている。 	<ul style="list-style-type: none"> お子様の成長段階に合わせたプログラム設定を行い、充実した支援を図っていきます。
	9	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	8	1	0	6	<ul style="list-style-type: none"> ないと思う。 まだないので、ぜひ連携していただけたら嬉しいです。 	<ul style="list-style-type: none"> 短時間の療育のため、必要に応じて検討していきます。
	10	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	15	0	0	0	<ul style="list-style-type: none"> とても丁寧に説明してくれた。 	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、丁寧に説明することを心がけていきます。
	11	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	15	0	0	0	<ul style="list-style-type: none"> とても丁寧に説明してくれた。 	<ul style="list-style-type: none"> 今後も計画更新の都度、お時間をいただき、直接説明させていただきます。ご不明な点がありましたら、いつでもお聞きください。

保護者への説明等	12	保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)が行われているか	9	2	1	3	・必要に応じてやっていると思う。	・必要に応じて、教室にてペアレントトレーニングやホームセラピーをご提案しています。ご希望の方はお声がけ下さい。
	13	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	15	0	0	0	・毎回その日の状況を伝えてくれるので共有できていると思う。 ・〇〇ができていないと困っていると伝えると、それもトレーニングしてくださり、とてもありがたいです。	・引き続き、LINEやお電話、面談など様々な方法でお子様の様子を共有していきます。
	14	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	15	0	0	0	・困っていることに対してすぐに対応してくれ、助言してくれる。	・モニタリング以外にも、ご希望の際に、面談やお電話にてご相談をお受けしております。
	15	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	2	2	6	5	・保護者が交流できる機会があると思う。 ・ないと思う。	・教室内で開催の検討をしていきます。決まり次第、お伝えしていきます。
	16	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	14	0	0	1	・いつも即対応してくれ、全ての先生に周知徹底されている。	・今後も保護者様やお子様からの相談を迅速に対応していきます。
	17	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	15	0	0	0	・いつも丁寧に対応してくれている。 ・LINEでやりとりが出来るのがとても便利で助かっています。	・今後もご家庭に合わせて、わかりやすい方法でお伝えしていきます。
	18	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	11	0	0	4	・HPやインスタで活動の様子が見られたら嬉しいです。 ・定期的に情報を得ることが出来る。	・今後も定期的におたよりを配布し、情報発信していきます。また、写真や動画でセラピーの様子をお伝えしていきます。
	19	個人情報の取扱いに十分注意されているか	14	0	0	1	・できていると思う。	・今後も、個人情報の取り扱いについては気をつけていきます。
非常時等の対応	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	14	0	0	1	・定期的に訓練している。	・職員間でも定期的にマニュアルを確認していきます。訓練の様子はお便りでお伝えしていきます。
	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	13	0	0	2	・子供たちも避難訓練が実施できると安心。 ・定期的に訓練している。	・今後も災害別に避難訓練をしています。また、お子様が参加できるように検討していきますのでその際にご協力お願いします。
満足度	22	子どもは通所を楽しみにしているか	14	0	0	1	・行き渋りは、時々あります。教室に行くことより楽しいことがあると、優先しがちです。 ・毎回楽しく通っている。 ・「明日はでらぼけさんの日だよ」と言うのにこにこしているのが楽しんでいるようです。	・これからも楽しく通っていただけるよう、職員一同、お待ちしております。
	23	事業所の支援に満足しているか	15	0	0	0	・園生活を想定したレッスンのおかげで幼稚園も抵抗なく楽しんで通っており、感謝しています。 ・とても満足している。 ・他の療育さんにも通ってみた結果、様々な面ででらぼけさんが一番私たち親子に合っているなと感じています。 ・いつも本当にありがとうございます。 ・支援に大変満足しています。今後共、宜しくお願いいたします。	・いつも支援内容にご理解いただき、本当にありがとうございます。今後も保護者様やお子様のニーズを把握し、お子様がより成長できるよう職員一同、日々、努めて参ります。今後とも、よろしくお願ひ致します。

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 6年 月 日

事業所名 てらびあぼけつと西川口教室

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		お子様に応じて、個室と大部屋を使い分けています。	定期的に設備等を確認し、安全に配慮していきます。
	2 職員の配置数は適切であるか	○		適切な人員配置が来ています。	
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	○		ロッカー等にお子様それぞれに合った目印をつけたり絵本を年齢別に色分けして、わかりやすく環境設定を行っています。	玄関が狭く混雑してしまうので下駄箱を変更し、スペースを確保しました。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	○		各クールごとに消毒、清掃を行っています。	より一層、心地よく過ごせる環境作りを行っています。
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○		毎日、振り返りをして、気づいた点などを掲示し情報共有しています。	今後も、運営や支援内容などを含め、業務改善を行うようにしていきます。
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		アンケートの結果をミーティングで共有し、業務改善につなげています。	改善した点をてらびあぼけつと西川口教室でお知らせしていきます。
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している		○	年に一回、実施しています。	毎月のおたよりなどでこまめに改善内容を公開していきます。
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○		検討していきます。
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		事業所内での研修や、外部の研修に参加し、セラピーの向上に繋げています。	今後も定期的に研修に参加する機会を作り、資質の向上を図ります。
適切な支援の提供	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	○		セラピー終了後にご報告を行い、ご意向に沿っているか確認しています。	
	11 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		事業所内で作成した、アセスメントツールを使用しています。	アセスメントツールと保護者様のご意向を考え、その子に合った支援を考えていきます。
	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	○		カンファレンスで話し合った内容を元に、お子様の支援内容を設定しています。	
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	○		支援計画を元にセラピー内容を決めています。	支援計画の内容をミーティングで職員へ周知し、セラピーの内容を検討しています。
	14 活動プログラムの立案をチームで行っている	○		それぞれのお子様に合った内容を職員間で話し合い、適宜行っています。	
	15 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		固定化しないよう、教材やあそびなどを調整しています。	今後も教材や活動などお子様に合った内容でプログラムのバリエーションを増やしていきます。
	16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	○		個別療育で出来た内容を小集団の中でも般化出来るように適宜、機会を設けています。	今後も個別活動と小集団活動を組み合わせて、支援計画を作成していきます。

関係機関や保護者との連携	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		朝礼で1日の流れやお子様の特記事項などを確認しています。		
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		終礼で支援の振り返りを行い、次の支援内容を調整しています。	終礼で気づいた点を共有し、セラピー内容の変更や調整に努めています。	
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		記録は毎セラピーごとに取りつつ、より課題や目標が明確になるように、記録用紙の改善も行っています。		
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	○		お子様の成長や、ご家族のニーズに合わせて面談を行いながら必要に応じて変更、改善を図っています。		
	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		児発管が参加し、内容を職員に共有しています。		
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	○		必要に応じて、関係機関との連絡を行っている。また、サービスなどのパンフレットの設置、配布もしています。		
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	○		いま現在、該当するお子様がいらっしゃらないのでお預かりがあれば、行ってきたい。		
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	○		いま現在、該当するお子様がいらっしゃらないのでお預かりがあれば、行ってきたい。		
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		移行支援ではないが、家庭連携として情報共有しています。		
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		移行支援ではないが、支援学校の学校公開に参加しています。	今後ご希望があれば、お子様の情報共有を行ってきたい。	
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		定期的にお子様の様子を情報共有しています。		
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	○		保育園、幼稚園と併用しているお子さんが多いため交流する機会が多いです。また保育所訪問を通じて、職員間の交流も行っています。	事業所としては2時間のみのお預かりのため、その中で活動する機会を作ることは難しいのが現状ですが検討していきます。	
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	○		川口市の協議会子ども部会に参加しています。	職員が全員参加出来るよう、機会を作ってきたい。	
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		セラピー後のフィードバックや連絡帳にて情報伝達を行っています。また、ご希望があれば適宜、面談も行っています。	今後も、情報共有をこまめに行い、お子様の状況を共通理解していきます。	
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	○		ホームセラピーや事業所内でペアレントトレーニングを実施しています。おたよりでもご希望を募りました。	おたよりでもお伝えしておりますが、全員へ周知出来るようお声がけていきます。	
	保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		契約時にご案内している。また同意が必要な書類などがある際には、その都度説明を行っています。	
		33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容を、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	○		初回時、計画更新時に児発管からその都度説明しています。	
		34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		面談を定期的に行っているほか、フィードバック、連絡帳、LINE等、相談方法を広げて対応しています。	
		35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	○			希望の声も多いので保護者の皆様アンケートをとる等、開催に向けて検討していきます。
36		子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	○		フィードバックや面談にて行いつつ、必要に応じてLINEや電話などを使う等、間口を広く設けるようにしています。		
37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		「てらぼけだより」としておたよりを定期的に発行しています。	活動内容や保護者様に必要な情報を発信していきます。		

	38	個人情報の取扱いに十分注意している	○		鍵付きのロッカーで書類を保管しています。また不要な書類はシュレッダーにて裁断し廃棄しています。	
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		イラストや絵カードなど分かりやすいツールを使用してお伝えしています。	
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○		スペースの確保など現状難しいですが、今後検討していきます。
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	○		定期的に訓練を実施しています。今年度行った防犯訓練を元に防犯マニュアルを更新しました。	
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		避難訓練を年二回実施し、内容をお便りでお伝えしています。	お子様も参加する機会をつくり、よりお子様の安全を確保できるよう訓練してまいります。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	○		保護者様にお聞き取りし、確認しています。	
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○		当教室内で、食事する機会は原則ないが、お聞き取りなどで情報収集しています。	
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		終礼時に、ヒヤリハットを確認し、記載しています。	小さいことでも、職員間で共有してゆけるように今後も継続していきます。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		定期的に研修を行っています。	今後も継続して対応していきます。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	○		行動制限が予測されるお子様には、支援計画に記載し計画更新時に説明しています。また職員間でも共有しています。	